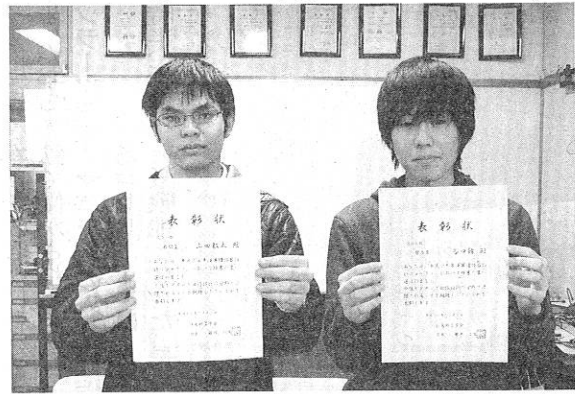


有明高専で最年少受賞

集積回路のコンテスト 4年生の山田、谷口さん

有明高専で最年少受賞。集積回路の演算増幅器設計コンテストで電気工学科四年生の山田教太(きょうた)さんが敢闘賞、電子情報工学科四年生の谷口幹(もとき)さんが努力賞を受賞した。



敢闘賞の山田さん(左)、努力賞の谷口さん

四年生でのコンテストの入賞は初めてで、有明高専最年少の受賞となった。

コンテストは集積回路を設計し、電力や回路の動作、速度、安定性を競う。山田さん、谷口さんが受賞したのは東日本大震災後、工場の被災で開催が見送られ、今年度復活した「試作の部」。設計した集積回路を実際に工場でつくり、動作などを競った。

山田さんは「全体で二位に相当する敢闘賞。回路の大きさなど設計を考えたのですがパズルをやっているような感覚で楽しか

ったです」と話した。谷口さんは「努力賞は同じく二、四位に相当すると思います。また回路設計の

勉強をしていなかったの
で、先輩に指導を受けなが
ら設計しました。入賞する

とは予想以上です」と語った。
二人を指導した専攻科一年生の大塩悠貴さんは「消費電力など設計を指導しました。二人の結果が良かったので、鼻が高いですね」と喜んだ。